

全国
初

新 畜産飼料流通効率化緊急支援事業

畜産振興課 18,000千円
【財源:国庫(重点交付金)】

事業の目的


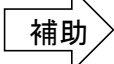
配合飼料価格が高止まりする中、飼料費の低減につながる機械導入等を支援することで畜産農家の低コスト生産や作業の効率化を図る。

事業の概要

(1) 事業内容

- 低コスト生産、安全性確保の推進（補助率1/2以内）
飼料残量測定装置等の飼料配送におけるDX化や作業の安全性を確保する機械等を導入する生産者への支援を行うことで飼料費の低減を図るとともに、飼料配送の効率化や高所作業の安全性確保を推進

(2) 事業の仕組み

- 県  経済連、配飼協、養鶏協会等  生産者



飼料残量測定装置による残量確認のデジタル化

(3) 成果指標

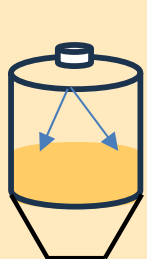
飼料残量測定装置導入農場割合
現状（令和5年12月）8% → 令和6年度 16%

事業の期間

令和5年度

【別紙】 ① 畜産飼料流通効率化緊急支援事業

◎ 生産性や作業性を改善するための 機器等の導入を支援



センサーで
残量検知！



遠隔で
確認可能！

飼料残量測定装置



滑車式遠隔開閉タンク蓋



タンクに設置す
ることで添加
作業を省力化！

添加物投入
ブレンダー



転落防止
ガード付梯子

安全
第一



畜産農家の導入メリット

- ・ 飼料の無駄な発注や過剰発注の解消による飼料費の低減
- ・ 本来自らが行うべき高所作業の緩和
- ・ 摂取量の可視化による生産管理の向上 等



運送業者の導入メリット

- ・ 発注の適正化による運送効率の向上
- ・ 緊急発注対応の回避 等

飼料費を低減し、将来に亘って安心して畜産経営ができる
持続可能な輸送体制を構築！

